

タイ日 高校サイエンスフェア参加



英語で研究の内容を発表。質疑応答も英語で行います。この日のために練習してきた成果を出し切りました。

12月15日～20日に、本校からタイに立ちました。参加したのは「Thailand-Japan Student Science Fair 2025」(以下「JSSF」)。これは協定校であるタイのプリンセスチュラボンハイスクールが主催する日本とタイの科学交流イベントです。本校からは科学部生物班の2年次生が参加し、外来種オオキンケイギクについての研究を発表しました。参加にあたり、「JSSF」の先生方と話す「しゃべりタイム」で英会話力を鍛え、タイの高校の生徒や先生方への発表に臨みました。

**国境を越えた科学の交流
に2年次生が参加**

探究情報推進部 エウレカ通信

プログレス探究Bでもタイと交流

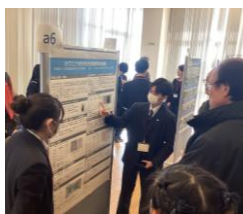
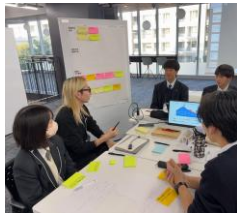


SSH事業の一つ、2年次対象の「プログレス探究B」では、タイの高校生と遠隔でつながり、研究を進めています。

プロ探B タイ・チェンライ校との共同研究「太陽光発電」「土壌成分」「発酵食品」など日本とタイの違いを比較することで共同研究を行っています。1月にはこのメンバーの中からタイへ渡航する人もおり、新たな日タイの国際交流が楽しみです。

外部発表・イベントに参加しています！

2年次は2月のポスター提出に向けて課題研究も大詰めに向かっています。その中で、文系 理系を問わず外部発表やイベントに多くの班が参加しました。外部の方の意見をいただくことで、さらに内容をブラッシュアップさせることができそうです。



あなたにとって探究とは？

「課題研究」を入試に生かした先輩たちにインタビュー

3年次生の中には課題研究を自分自身の進路に生かした人もいます。

大学に出願する際の志望書に自身の探究活動の経験を記述した人、面接で語った人。中には実際に自分の行った課題研究についてのプレゼンを行った人もいます。



約2年間の課題研究はどうでしたか？感想を聞いています

印象に残っているのは「何でもやってみることが大切」という話を複数の3年次生から聞いたことです。「わからないこと」「やったことのないこと」でも挑戦するチャンスがあれば、ぜひ掴んでほしい、そう語る3年生は輝いていました。

24回生いよいよ課題研究が始まります

11月中旬には大講義棟で「S探究」の発表会が行われました。

12月からはいよいよ自分たちの課題研究についてテーマを考えていきます。多くの先輩たちが、ここで悩み、研究し、そして成長してきました。

次は皆さんの番です。しっかり考えてテーマを決めましょう。

